

地震防災訓練をロールプレイング形式で行います

平成 16 年 9 月 30 日

10月1日に「地震防災訓練」を実施します。この訓練は9月1日の防災の日
に実施予定であったところ、台風16号上陸の影響で延期になっていたものです。

訓練は延岡河川国道事務所では事務所及び出張所の職員総数約 80 名を対象に
実施します。当事務所においては、より実践的な訓練を行うため想定震度や被害
状況を当日まで職員に知らせない「ロールプレイング方式」による訓練を実施
します。

『地震防災訓練』

1. 日時：平成 16 年 10 月 1 日（金） 7時30分～17時00分

2. 主な訓練のポイント

東南海・南海地震を想定した実践的な訓練を行うため、同地震で最も想定被害の大きい宮崎県延岡市周辺に位置する延岡河川国道事務所でロールプレイング方式の訓練を行う。対象施設：河川（五ヶ瀬川）、道路（国道10号）
東南海・南海地震を想定した訓練で、震度6弱を想定した地域においては、九州地方整備局のヘリコプター「はるかぜ号」が出勤し、上空からの被害報告や現地の画像をリアルタイムに整備局へ配信する訓練を行う。

用語の解説

ロールプレイング方式の訓練とは

「役割演技法」と訳されており、災害時と同じ環境すなわち実相に近い状況を設定して行われる訓練。訓練は、プレーヤー（演習部）とコントローラー（指揮部）によって進められ、コントローラーはプレーヤーに「付与カード」を渡し、プレーヤーは次々と伝達される条件変化に対して、情報収集、判断、実行、確認のプロセスを繰り返し訓練する。

取材は、事務所3階「記者対応室」で受付けます。

問合せ先

国土交通省 延岡河川国道事務所

調査第一課長 鶴崎 秀樹

調査第二課長 中川 英一

電話：(0982)31-1155

FAX：(0982)33-6907